

とちぎ夢大地応援団

6月26日、健武細田下平地区の遊休農地で「とちぎ夢大地応援団」による草刈り作業などが行われました。

この事業は、宇都宮を中心としたボランティア集団が農地などの草刈り作業を県内外で行っているもので、町内外から39名の方が参加し、草刈り作業・竹の粉砕・牧柵の撤去の3班に分かれ、それぞれ作業を行いました。

作業終了後には、地元の方たちが準備したおにぎりや豚汁のほか、関東フーズ提供のイノシシ肉を使ったメンチなどが振る舞われ、参加者の皆さんは、「作業はきつかったが、こんなにもてなしてもらって非常によかった」と満足そうに話していました。



南那須支部消防操法大会

大桶運動公園（那須烏山市）で7月4日、第15回南那須支部消防操法大会が開催され、当町から小型ポンプ操法の部で第1分団第3部（南町）、第6分団第2部（大内）、ポンプ車操法の部で第2分団第2部（矢又）、第5分団第1部（久那瀬）の4チームが出場しました。

炎天下の中、日頃の練習の成果を発揮し、第6分団第2部（大内）と第2分団第2部（矢又）がそれぞれの部で準優勝しました。

また、競技終了後には、県防災ヘリによる救助訓練の実演がありました。



那須小川まほろば太鼓  
新曲「打弾」を初披露

7月4日、小川総合福祉センターあじさいホールで、那須小川まほろば太鼓の第12回定期演奏会が開催されました。

演奏は「Joyful Beat」祭

音、「翔け未来へ」や「まほろばの風」など8曲を披露。また、大人太鼓用の4曲目のオリジナル曲「打弾」が初披露されました。この曲は、若手打ち手3人による作曲で、曲名の由来のとおり「心躍らせ、弾みながら打つ」打ち手の姿に、場内からは盛大な拍手が送られていました。

世界のシャボン玉が  
やってきた

7月6日、薬利小学校体育館で理科実験教室シャボン玉ショーが行われ、今回は薬利小学校と小川南小学校の全児童と、小川小学校の1・2年生が参加しました。

シャボン玉ショーでは、シャボン玉の世界記録保持者である杉山兄弟が来て、いろいろなシャボン玉を出す機械や、実際に「嵐」のコンサートで使用しているシャボン玉の機械を披露していました。

ショーの後半では、児童の代表たちが大きなシャボン玉の中に包まれる姿や体育館がシャボン玉でいっぱいになる光景に子どもたちは歓声を上げていました。



鈴木りかさん100歳

鈴木りかさん（谷川）が7月5日に100歳を迎え、大金町長からお祝い金と花束が贈られました。

鈴木さんは大山田下郷に生まれ、昭和6年に谷川に嫁いできました。そして、とても教育熱心な鈴木さんは、9人の子どもたちをしつかりと育て上げました。

性格は、物事に動じない。小さいことにくよくよしない。性格だということです。また、趣味は歌を歌うことで、家では好きな歌をよく歌っているそうです。

大病を患うこともなく、今も元気な秘訣は、平素体に合ったものを食べ、好き嫌いをせず、家族と同じものを食べるのだそうです。





7月12日、夏休みを前に馬頭高校では、栃木県警協力のもと、女子生徒を対象にした護身術教室を開催しました。生徒の皆さんは、犯罪に巻き込まれそうになった場合の心構えとして「①基本的には逃げるのが大事なので、臆病になること、②危険な場所には近づかないこと、③人や物に対する執着心を捨てること、④大声を出して、周りに協力を求めること」の説明を受けました。

その後、2人で1組となり、苦戦しながらも、いざという時に役に立つ護身術の習得に励んでいました。

馬頭高校で  
護身術教室開催



小川小学校同窓会主催による第60回塩那少年野球大会が、7月17日から19日の3日間に渡り、小川運動場ほかで開催されました。

今年は、那珂川町合併5周年並びに第60回の記念大会として、例年より8チーム増の町内外24チームが出場し、夏の暑さに負けられないような熱戦が繰り広げられました。

大会結果は次のとおりです。

優勝 馬頭ラッキー  
準優勝 黒磯クラブ  
第三位 豊浦クラブ  
第三位 こぶしフェニックス

第60回塩那少年野球大会

7月17日、小川総合福祉センターあじさいホールにて第60回社会を明るくする運動栃木県推進大会が開催され、保護司や民生委員児童委員など関係者約350名が出席しました。

青少年の健全育成のため、「犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ」をスローガンに「三ない運動」を推進する旨の大会決議を読み上げられ、無事閉会し、その後の「子ども・いきいきコンサート」では、わかあゆ保育園児の踊り、馬頭中学校や烏山高校の吹奏楽部による演奏などが披露され、出席者の目を楽しませてくれました。

社会を明るくする運動  
栃木県推進大会



また、地元育成会の協力のもと、縦3m×横1.5mの鉄板の上で巨大もんじゃ焼きに挑戦、集まった地元の方さんも一緒に月島名物のもんじゃ焼きを食べながら、交流を楽しみました。

廃校となった旧健武小学校の校舎を利用して、東京のNPO法人「森の学校」が、自然環境を活用した都会の子どもと地元の子どもたちとの交流活動を実施、東京・月島から小学生5人が参加し、7月18日から1泊2日の日程で、里山探検、川遊び、キャンプなどを通じて、那珂川町の自然や地元の子どもたちと交流を深めました。

旧健武小学校で  
森の学校開校

7月24日、第5回久那瀬夏祭りですが、地元の津島神社例大祭に併せて、久那瀬多目的集会所で開催されました。

栃木弁で有名な嶋均三さんのトークショーに続き、三善英史さん、東山明美さんら豪華スターが共演した歌謡ショーでは、大金伊一町長が、オヨネーズの一員として「麦畑」をデュエットするなどのサプライズもあり、会場は盛り上りました。

テレビで見たことのある歌手の皆さんを間近で観ることが出来て、観客の皆さんは、大喜びでした。

久那瀬の夏まつり

